

調 査 票 (素案)

～ご記入にあたってのお願い～

- ◆アンケートは**必ず封筒の宛名のご本人がご回答ください。**
(ご本人が記入できない時は、身近な方がご本人から聞き取り、ご記入ください)
- ◆調査票及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
また、切手を貼る必要もございません。
- ◆回答結果は、統計的な数値として集計する以外には使用しませんので、ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。
- ◆ご記入いただきました**調査票**を同封の返信用封筒に入れ、

○月○日(○)までに、郵便ポストにご投函ください。

問1 タウンミーティングや地域での説明会に参加しましたか。(1つに○)

- 1 ある 2 ない

問2 市民向け報告会に参加しましたか。(1つに○)

- 1 ある 2 ない

問3 現天守閣の状況と耐震改修を行った場合の内容(概算事業費や耐用年数等)について、ご理解いただけましたか。(1つに○)

- 1 理解できた 2 どちらかという理解できた
3 どちらかという理解できなかった 4 理解できなかった

問4 今回の技術提案・交渉方式による優秀提案での木造復元の内容(工期・工程・概算事業費)について、ご理解いただけましたか。(1つに○)

- 1 理解できた 2 どちらかという理解できた
3 どちらかという理解できなかった 4 理解できなかった

問5 天守閣木造復元にかかる財源内訳について、ご理解いただけましたか。(1つに○)

- 1 理解できた 2 どちらかという理解できた
3 どちらかという理解できなかった 4 理解できなかった

問6 天守閣の整備について、今後どのようにしたら良いと思いますか。(1つに○)

- 1 優秀提案による木造復元を行う 2 現天守閣の耐震改修工事を行う
3 その他

()

問7 今までに、何回名古屋城を訪れましたか。(1つに○)

- 1 1回 2 2、3回程度 3 4回から6回程度
4 7回以上 5 訪れていない

あなたご自身について

問8 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- 1 男 2 女

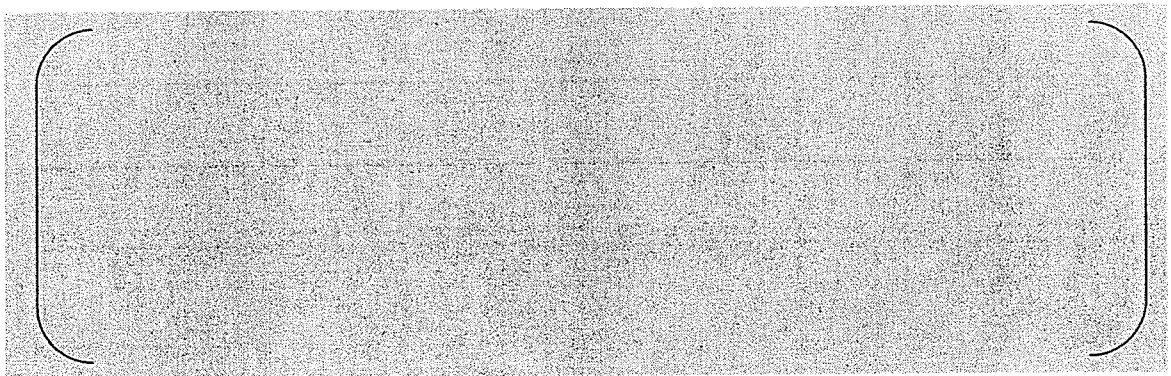
問9 あなたの年代をお答えください。(1つに○)

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代
6 60代 7 70代以上

問10 あなたが現在お住まいの区をお答えください。(1つに○)

- | | | | | |
|--------|-----------|--------|-------|--------|
| 1 千種区 | 2 東区 | 3 北区 | 4 西区 | 5 中村区 |
| 6 中区 | 7 昭和区 | 8 瑞穂区 | 9 熱田区 | 10 中川区 |
| 11 港区 | 12 南区 | 13 守山区 | 14 緑区 | 15 名東区 |
| 16 天白区 | 17 その他() | | | |

問11 天守閣の整備について、ご意見等をご自由にお書きください。



ありがとうございました。

ご記入いただきました本冊子を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

お問い合わせ先

▼アンケートについてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

名古屋市役所 観光文化交流局 名古屋城総合事務所 天守閣整備担当：〇〇、〇〇

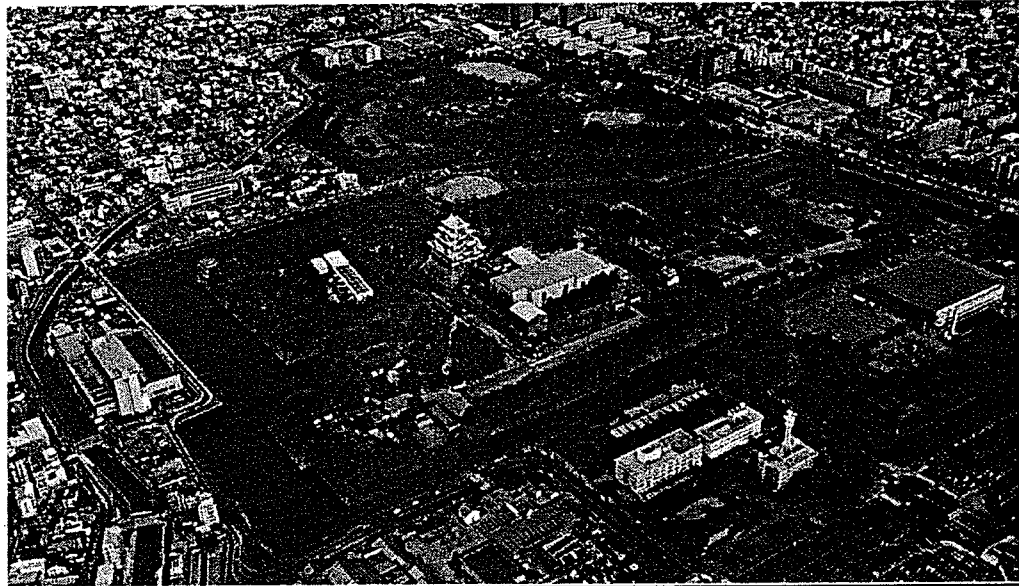
電話：(052) 231-1700 (代表) / FAX：(052) 201-3646

対応時間：月曜日から金曜日の午前8時45分から午後5時30分まで(祝日を除く)

※FAXは常時受け付けておりますが、対応につきましては上記時間内とさせていただきますので、ご了承ください。

名古屋城天守閣の整備にかかる説明資料（素案）

「名古屋城天守閣の整備」



趣 旨

- ・現天守閣は、再建から半世紀以上が経過し、コンクリートの劣化や耐震性の確保など様々な課題が顕在化しています。
- ・これまで、耐震改修や木造復元について、検討・調査を実施してまいりました。

市民の皆様の理解を
得ながら進めてまいります

2020年7月までに天守閣を木造復元する場合の優秀提案が決定いたしましたので、優秀提案の内容や財源フレーム（案）などの情報をお示ししたうえで、天守閣整備に対するご意向をお伺いいたします。

名古屋城の現状

■概要

特別史跡名古屋城跡：約50万㎡（有料区域：約25万㎡）

重要文化財：日本丸御殿障壁画 1,047面

東南隅櫓、西北隅櫓、西南隅櫓

表二之門、旧二之丸東二之門、二之丸大手二之門（有料区域外）

その他：名勝二之丸庭園、天然記念物カヤの木 など

■入場者数

年度	22	23	24	25	26
人数(万人、切捨て)	151	141	147	165	164
全国順位	3位	4位	5位	2位	4位

■開園状況

開園時間：午前9時～午後4時30分（桜まつり、宵まつり期間中は延長）

休園日：12月29日～1月1日

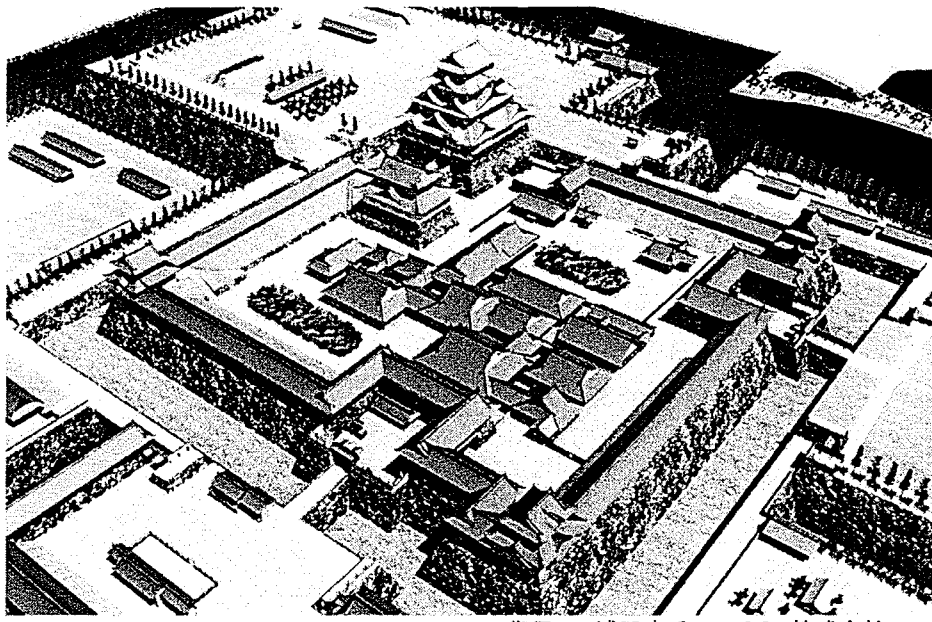
3

名古屋城のあゆみ

時期	内容
慶長15年 1610年	徳川家康の命により築城に着手
慶長17年 1612年	天守閣が竣工
明治5年 1872年	陸軍省の所管となる
明治26年 1893年	宮内省に移管され名古屋離宮となる
昭和5年 1930年	宮内省から名古屋市に名古屋城を下賜 天守閣等が城郭として国宝第1号に指定(旧国宝)
昭和7年 1932年	名古屋城の実測調査を開始(昭和27年に実測図完成)
昭和20年 1945年	第二次大戦中の空襲により焼失
昭和34年 1959年	天守閣再建
平成21年 2009年	本丸御殿復元工事に着手

4

名古屋城本丸復元イメージCG



復元 三浦正幸氏 CG 株式会社エス 5

焼失前の天守閣と本丸御殿



大天守閣（概要）



南側より

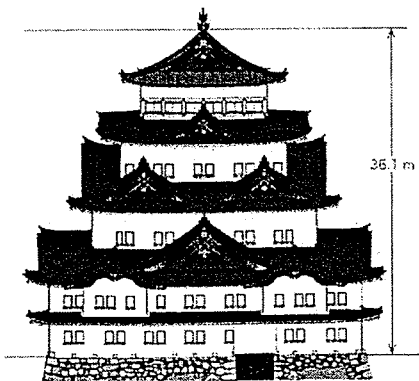
- ・層塔型天守
- ・5層5階、地下1階
- ・延床面積：4,564.0m²
- ・総高：48.5m

※延床面積と総高は、昭和実測図より算定

※総高は本丸地盤からの高さ（石垣の高さを含む）

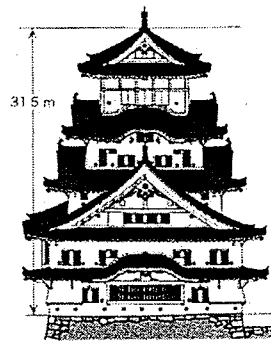
7

名古屋城と姫路城の天守閣の比較



名古屋城

旧国宝指定：昭和5年12月
5層5階、地下1階
高さ(石垣上)：約36.1m
延床面積：約4564.0m²

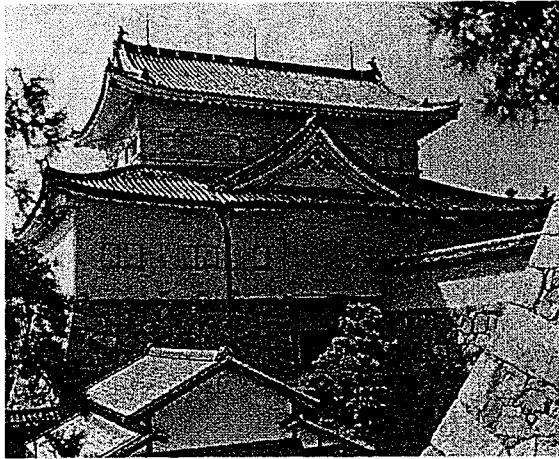


姫路城

旧国宝指定：昭和6年1月
5層6階、地下1階
高さ(石垣上)：約31.5m
延床面積：約2409.0m²

8

小天守閣（概要）



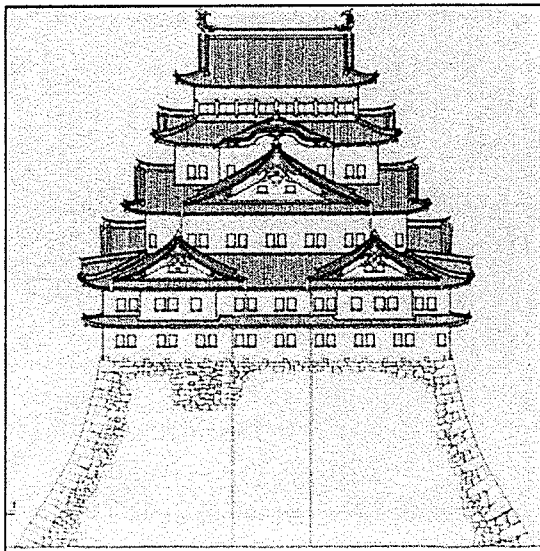
北側より

- ・ 2層2階、地下1階
- ・ 延床面積：831.9㎡
- ・ 総高：24.7m

※延床面積と総高は、昭和実測図より算定

※総高は本丸地盤からの高さ（石垣の高さを含む）

昭和実測図①

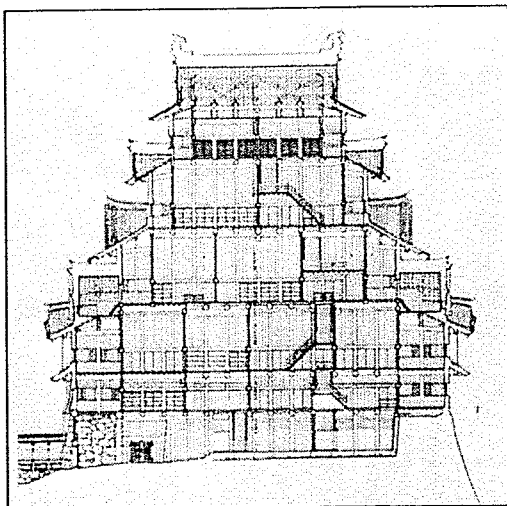


- ・ 昭和7年から27年にかけて、天守閣はじめ国宝建造物24棟の実測図面を作成

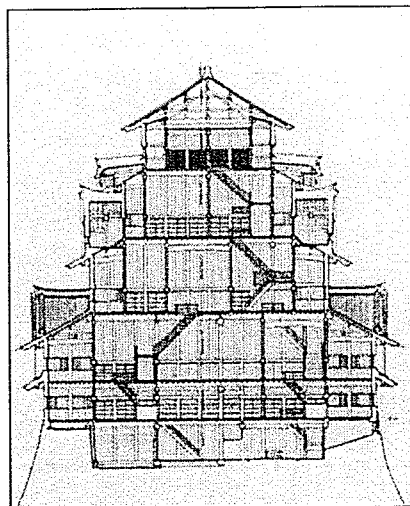
- ・ 大天守閣：56枚
- ・ 小天守閣：15枚

大天守閣立面図（西側）

昭和実測図②

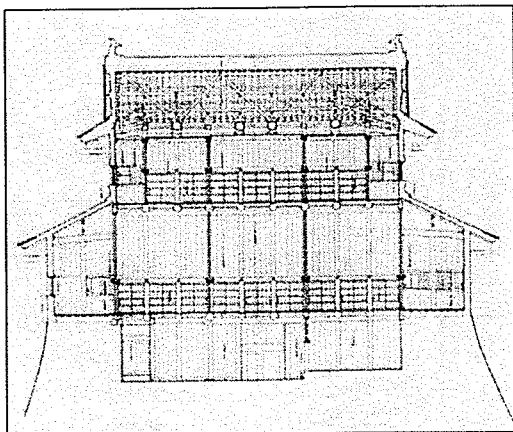


大天守閣南北断面図

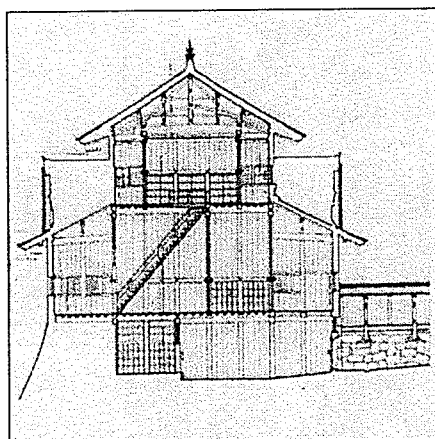


大天守閣東西断面図

昭和実測図③

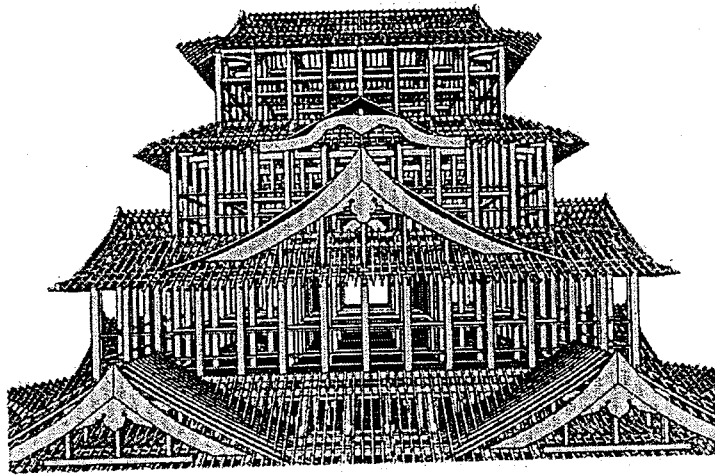


小天守閣東西断面図



小天守閣南北断面図

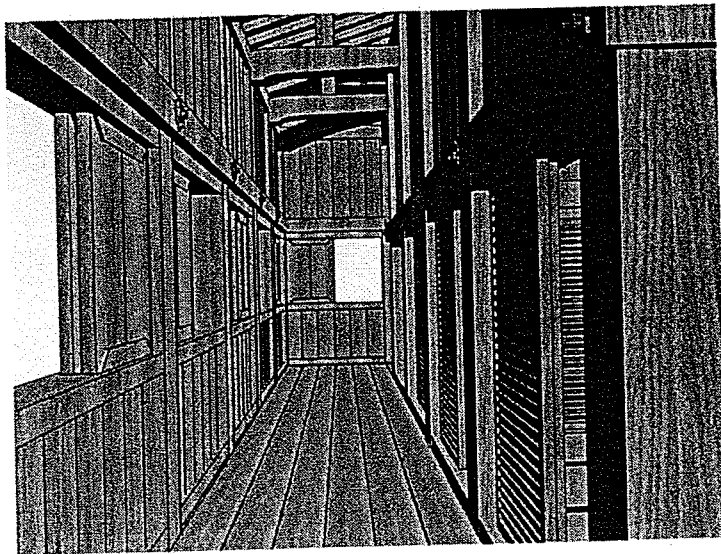
昭和実測図復元イメージCG①



制作：川地正数氏

13

昭和実測図復元イメージCG②



制作：川地正数氏

14

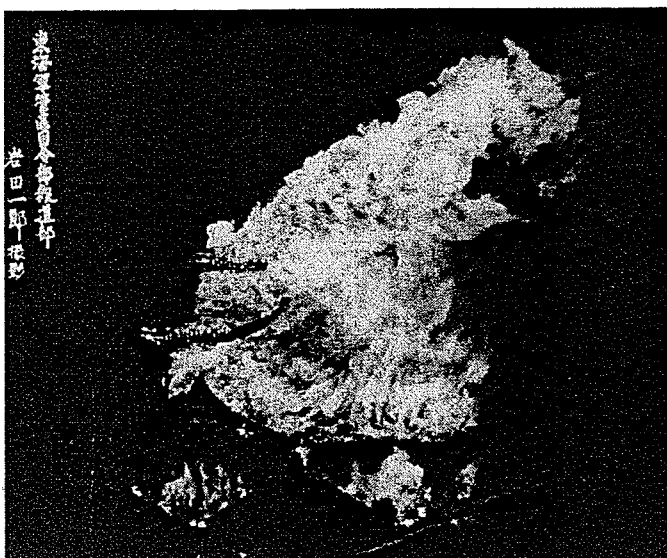
昭和実測図復元イメージCG③



制作：川地正数氏

15

戦災による焼失

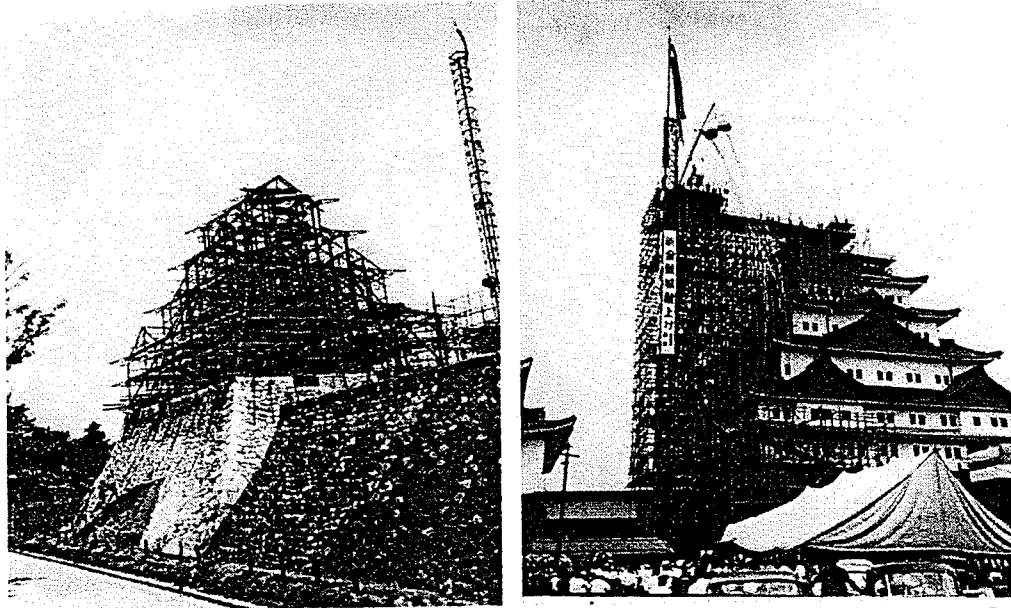


- ・昭和20年(1945)5月14日空襲により大天守閣、小天守閣ともに焼失
- ・天守閣の他にも、本丸御殿など多くの建物が焼失

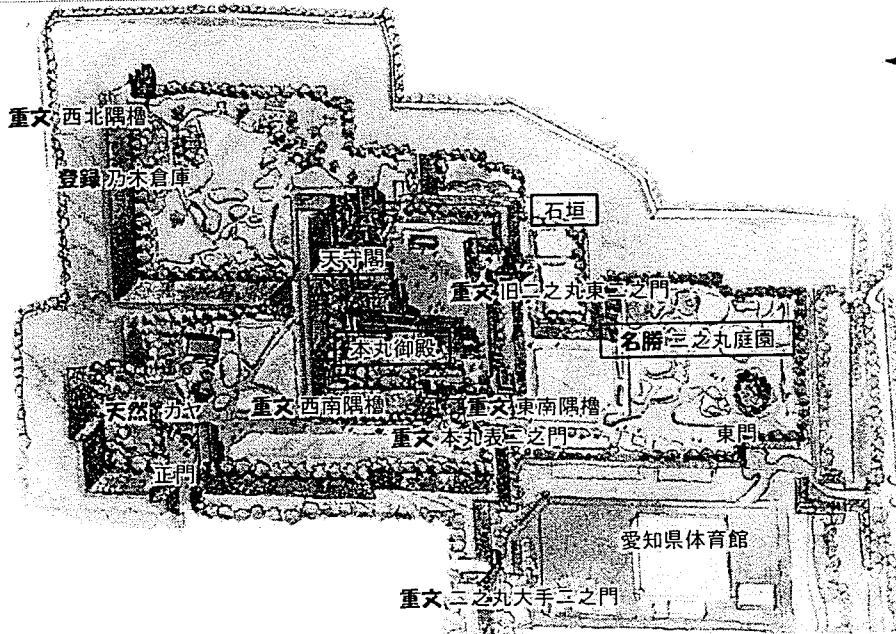
写真：東海軍管区司令部報道部 岩田一郎氏 撮影
「名古屋空襲を記録する会」蔵

16

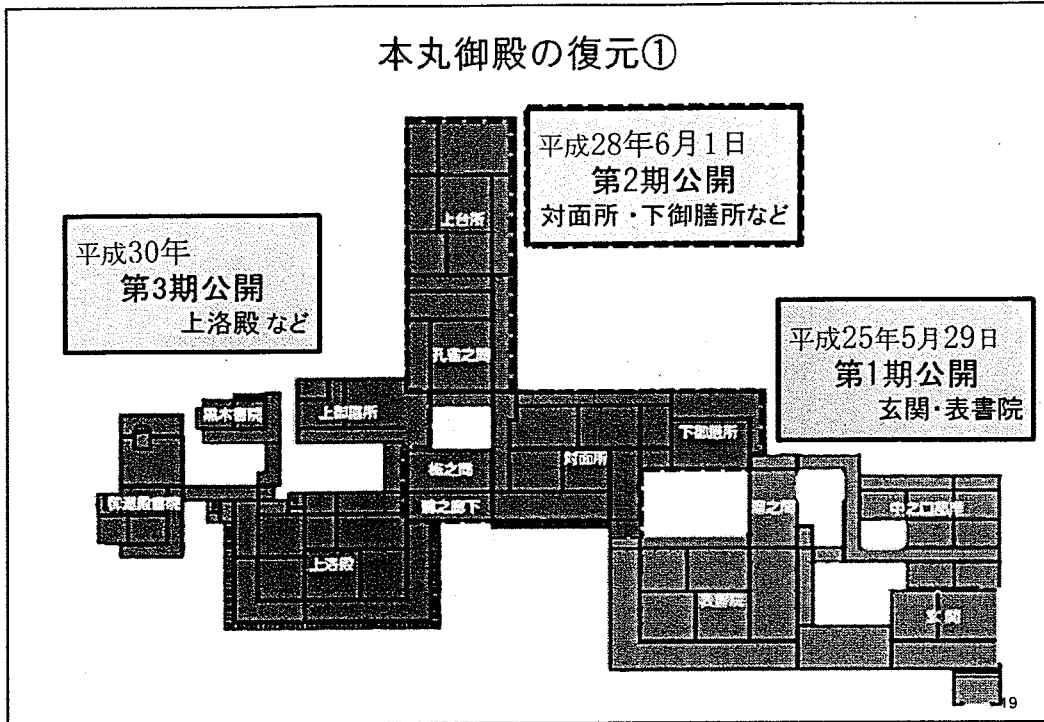
天守閣の再建



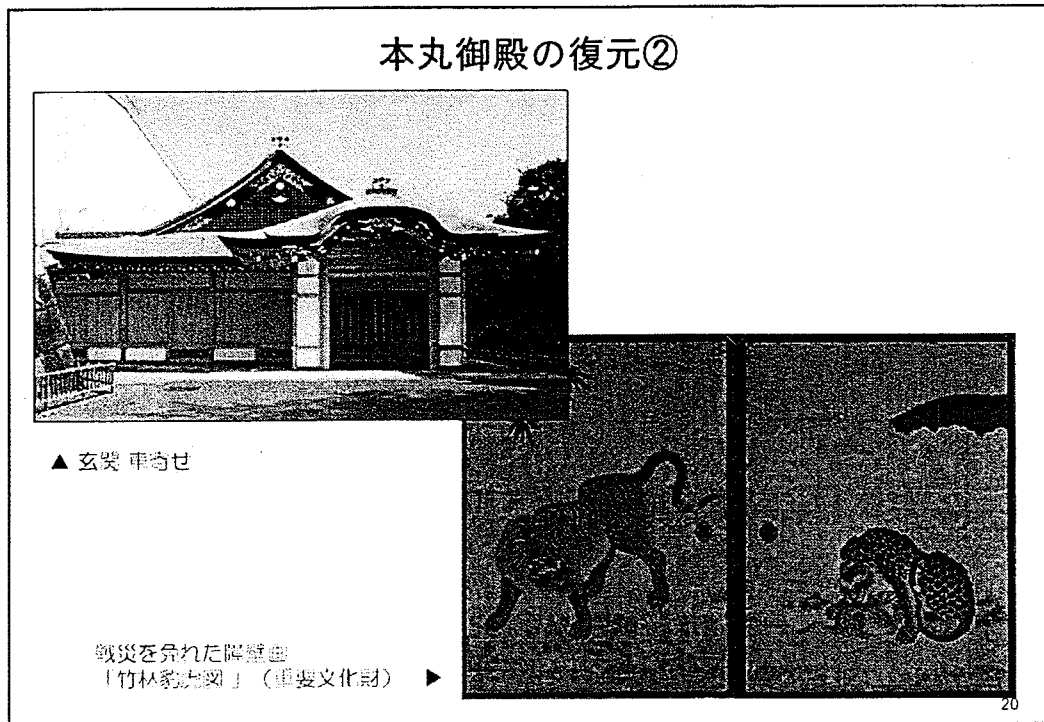
名古屋城の整備状況



本丸御殿の復元①



本丸御殿の復元②



名勝 名古屋城二之丸庭園の保存整備



▲ 北御庭

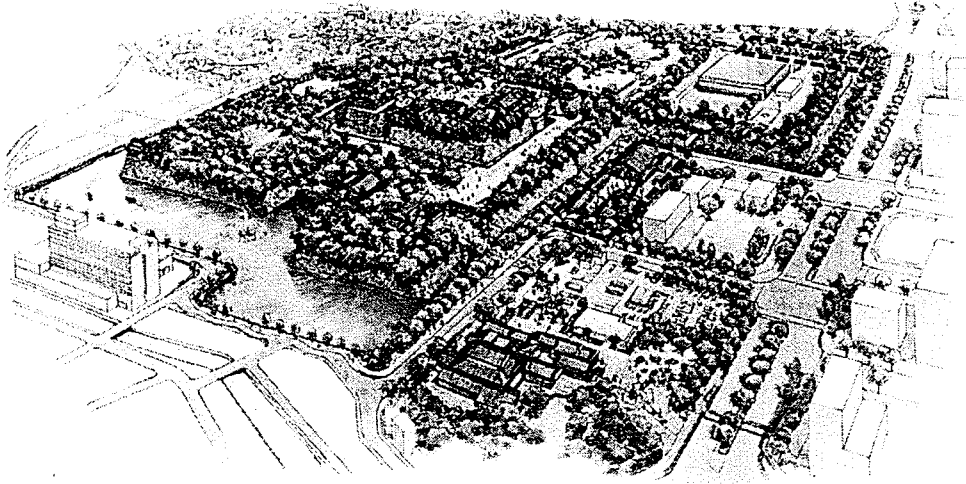
発掘調査 ▶



石垣（からめてうまだし本丸搦手馬出）の修復



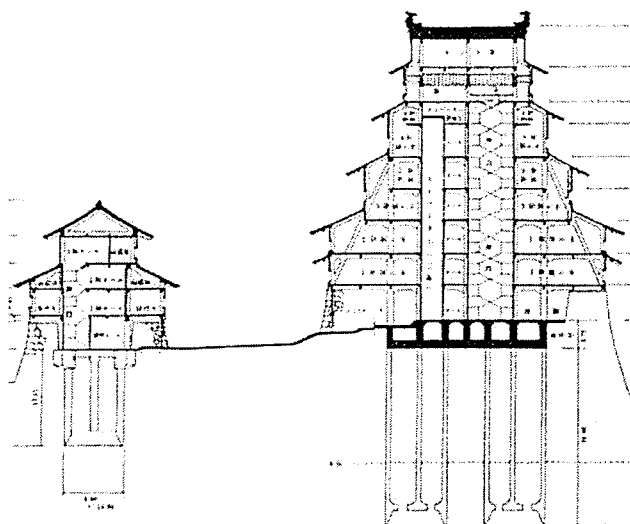
金シャチ横丁の事業展開



金シャチ横丁のイメージ



現天守閣（概要）



- ・総工費約6億円
(内、約2億円が寄附)
- ・鉄骨鉄筋コンクリート造の
建物として再建

大天守閣
5層7階、地下1階

小天守閣
2層3階、地下1階

25

現天守閣の課題等

再建されてから56年が経ち、
さまざまな課題が・・・

- ① 老朽化の進行（コンクリートの劣化、設備の老朽化、石垣の変形、石材の劣化）
- ② 耐震性能が現行基準に合わない（耐震改修した場合でも概ね40年の寿命）
 - ・耐震診断の評価 II-2（本市耐震基準による）
震度6強程度の地震に対して、倒壊又は崩壊する可能性が高い

26

天守閣整備の考え方

■ 整備に関する文化庁の見解（平成27年6月22日）

- ・ 天守の再建については、整備主体である地元の自治体がどのような整備を行うか考えることが第一
- ・ その上で、天守を復元する場合は、原則として材料等は同時代のものを踏襲する必要があるが、それ以外の可能性を排除するものではない
- ・ 名古屋城天守閣については、往事の資料が十分そろっていることを踏まえ、いわゆる復元検討委員会において木造によるできうる限り史実に忠実な復元をすべきとの意見が出される可能性が極めて高いと考えられる

※「復元検討委員会」とは、歴史的建造物の復元に関する具体的案件等について検討を行うため、文化庁に設置された専門委員会

27

これまでの市民意見①

【平成23年度】

- ・ 日本の歴史的文化遺産として後世に残すためにも木造天守閣は必要
- ・ 東北隅櫓、多間櫓の復元を優先すべきで、天守閣の木造復元はその後に考えること

【平成26年度】

- ・ “尾張名古屋は城でもつ”と言われるように天守閣は名古屋のシンボルである。一刻も早く本来の木造で復元すべき
- ・ 天守閣を建て替える必要性がまだ感じない。やるならば多間櫓や馬出の復元が望ましい
- ・ 木造復元する際には市民の方も寄附をできる範囲でさせて頂きたいと思うのではないか

【平成27年度】

- ・ 「木」にしていきたいと強く思う
- ・ 現在の天守閣を今後も大切に保存していきたいと思う

平成23年度：「名古屋城の将来を語る市民大討論会」での主な意見

平成26年度：「名古屋城天守閣フォーラム」、「寄附者懇談会」での主な意見

平成27年度：「名古屋城天守閣フォーラム」での主な意見

28

これまでの市民意見②

【平成25年度 第11回 ネット・モニターアンケート（平成26年2月21日～3月3日）の調査結果（抜粋）】

■現在の天守閣を今後どうしていくとよいと思いますか

現在の天守閣を存続させて、耐震補強や改修などを行う：71%

現在の天守閣を解体して、木造で復元する：15%

現在の天守閣を解体して、現状と同じく鉄骨鉄筋コンクリートで再建する：3%

わからない：9% その他：2%

※ネット・モニターアンケートとは、500人の市民モニターを公募し、インターネットを活用して調査

「鉄骨鉄筋コンクリートで再建する」という選択肢に関連し、文化庁の見解を巡って、以下のように議論されました。

【当局の認識】

（平成26年6月定例会 本会議 市民経済局長答弁）

アンケートの実施に際して、鉄骨鉄筋コンクリートでの天守閣再建の可能性について文化庁に照会しなかったことについては配慮が足りなかったと認識している。

（平成27年7月1日 経済水道委員会における市民経済局長発言）

6月17日の所管事務調査において、名古屋城天守閣の整備に関し、文化庁の見解として「再建する場合は木造復元に限る」と説明したが、今回改めて文化庁に確認したところ、まず日本国内の城郭全体についての一般論として、「天守の再建については、整備主体である地元の自治体がどのような内容の整備を行うか考えることが第一」であり、「その上で、天守を復元する場合は、原則として材料等は同時代のものを踏襲する必要があるが、それ以外の可能性を排除するものではない」、一方、具体論として、「名古屋城天守閣については、往時の資料が十分そろっていることを踏まえると、いわゆる復元検討委員会において木造によるできる限り史実に忠実な復元をすべきとの意見が出される可能性が極めて高いと考えられる」との見解であった。前回の委員会における文化庁の見解についての資料および説明において、正確性を欠いていた。

29

【議会での意見】（平成27年7月1日 経済水道委員会）

- ・天守を復元する場合は、それ以外の可能性を排除するものではないということであれば、木造もあり、そして今の鉄骨鉄筋もあり、そしてハイブリッドのようなものもありということ。
- ・今回、木造にするのか、あるいは、ハイブリッドなのか、あるいは延命をしていくのかという、三つの選択肢が示されたということだと思う。

【市長の見解】（平成27年7月6日 市長定例記者会見）

復元検討委員会が開かれるときに、木造で建てなさいよという意見が出る可能性が極めて高いということは、そこの中でわかってくださいよということです。だからこれは木造ということになるんですよ。

30

議会の議論①

平成27年6月17日 経済水道委員会における主な議論

- ・名古屋城全体の整備に対する考え方
- ・木造復元に係る工期・事業費
- ・木造復元に伴う経済波及効果

平成27年7月1日 経済水道委員会における主な議論

- ・整備に関する文化庁の見解
- ・木造復元に係る財源の確保
- ・天守閣の整備手法

平成27年9月定例会 経済水道委員会における主な議論

- ・新たな市民アンケートの実施時期、方法及び市民負担の明示に係る考え方
- ・特別史跡名古屋城跡全体整備計画との整合性
- ・寄付金募集の重要性に対する当局の認識
- ・整備に係る想定スケジュール

31

議会の議論②

平成27年9月定例会 補正予算可決時に付された附帯決議より

- ・名古屋城天守閣の木造復元に係る概算経費が約270億円から400億円と莫大であり、厳しい財政状況の中、市民生活に大きな影響を与える懸念があることから、関係局との協議を踏まえ、国・県支出金、寄附金、地方債、市税等の割合を含めた財源フレームを明確にし、優秀提案選定後の工期・工程・概算事業費等が明らかになった段階で速やかに、市民アンケートを実施しあわせて議会へ報告すること。

32

天守閣整備の調査報告

木造復元を行う場合の検討項目		可能な限り 早期復元	耐震改修し 40年後に復元
木材調達	大径木の流通量(400mm角以上)	△	×
	木曾ヒノキ(国有林)の流通量	△	△
	一般木材の流通量	○	○
社会情勢	建設コスト	△	△
	生産年齢人口	○	△
	税 収	○	△
	大工や技術者の確保	○	△
40年間の維持管理費		○	×
財 源		△	△

※ ○:普通 △:困難 ×:極めて困難
 ※ 平成26年度「名古屋城整備検討調査」による

33

天守閣整備の経済波及効果

区 分	木造復元	耐震改修
概算経費	約270～400億円 (使用する木材により幅あり)	約29億円
建設工事による 経済波及効果	約530～780億円	約60億円
入場者数の増加による 経済波及効果	毎年約100億円 (約165万人増)	—

※ 建設工事による経済波及効果は、総務省が平成23年度産業連関表のデータから作成した簡易計算ツールにより算出
 ※ 入場者数の増加による経済波及効果は、「名古屋市観光客・宿泊客動向調査(平成25年度)及び簡易計算ツールを用いて単年度ベースで算出

(参考) 江戸城天守閣を再建する場合の事業費等

事業費	約350億円
経済波及効果	初年度で約1,000億円
雇用創出効果	約8,000人

※認定NPO法人 江戸城天守を再建する会「平成25年度事業報告書」による

34

他城郭の整備前後の比較

区 分		熊本城	姫路城	掛川城	大洲城
整備内容		本丸御殿 一帯整備	大天守 保存修理等	天守復元	天守復元
事業費(百万円)		5,379	3,692	2,218	1,594
入場者数 (千人)	着工前	790	1,195	7	—
	竣工後	2,219 (2.8倍)	予想値	494 (62.2倍)	85 (—)
	26年度	1,631 (2.1倍)	2,000 (1.7倍)	117 (14.8倍)	27 (—)
入場料収入 (百万円)	着工前	293	580	1	—
	竣工後	854 (2.9倍)	予想値	129 (116.3倍)	24 (—)
	26年度	662 (2.3倍)	2,563 (4.4倍)	39 (35.0倍)	11 (—)
売店等収益 (百万円)	着工前	88	97	未設置	未設置
	竣工後	346 (3.9倍)	予想値	未設置	1 (—)
	26年度	290 (3.3倍)	200 (2.1倍)	6 (—)	1 (—)

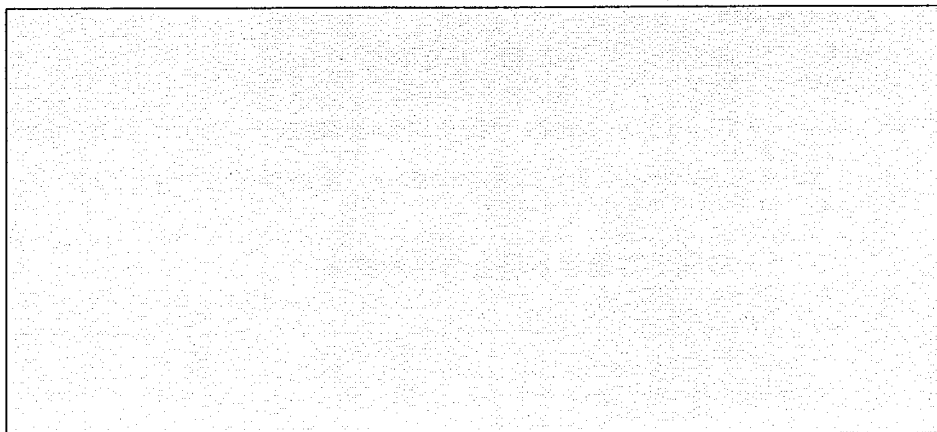
※ () 書きは、着工前と比較した伸び率

※ 数値は単位未満切り捨てているので、伸び率とは合わない

※ 姫路城は、平成27年3月27日から公開のため、「竣工後」及び「26年度」欄は平成27年度の予想値 35

技術提案・交渉方式にかかる優秀提案の内容

- ・ 2020年7月までに天守閣を竣工することなどを条件に提案を募集
- ・ 参考額を提示(270億円～400億円)



天守閣整備にかかる財源フレーム（案）

